

友だち、たくさん

桑野小学校 三年 紅露 菜月

こうろ なつき
(敬称略)

わたしが一番大切だと考えているのは、人のいのちです。わたしは、人のいのちより大切なものはないと思っています。もしかすると、いのちより大切な物を持っている人もいるかもしれませんが、そんな人は少ないのではないかと思います。

もう一つ、わたしが大切だと思うものがあります。それは、友だちです。友だちは、わたしの心を動かしてくれる存在です。なぜなら、友だちのおかげで、学校へ来ることが楽しくなったからです。

一年生から三年生までのあいだは学校へ行くのがいやな日もありました。とくに、一年生のはじめは、通っていたようちえんから桑野小学校に入学するのが、わたし一人だったので、心細く、一人ぼっちになったような気がしていました。はじめはともだちがいなかったのですが、学校になれてくるにつれて、気づいたら友だちがたくさんできていました。学校での生活は、いやなこともあるけれど、友だちがいれば楽しく感じられることも多くなってきました。学校で友だちとすごすことが、わたしの楽しみになってきました。

そんなとき、人けん学習の時間に友だちがずっとできなくてつらい思いをしている人がいることを知りました。

わたしは、

「友だちがいても、だれかにいやなことをされたら学校へ行きたくなくなることもあるのに、友だちがいらない子がいやなことがあったらどうするんだらう。もしかして、自分のまわりにもいやな思いをしている子がいるかもしれない。」

と、思いました。わたしが気づいていないだけで、つらい思いを毎日している子がわたしの近くにいてもいいかもしれません。わたしが、一年生のときに友だちがいなくて心細かったのと同じ気もちを味わってほしくないと思いました。

でも、わたしにできることは、そんなに多くはありません。一人でいる子に話しかけたり、いっしょにすごしたりと、あたりまえのことしかできません。でも、そんなあたりまえのことが、だれかの助けになるのなら、わたしは、すすんで、だれかの友だちになりたいと思うようになりました。

ニュースでは、友だちのことやんだり、いじめでのちをうしなったりする人がいることも知っています。一番大切なのちをまもるためにも、わたしはこれからも、たくさん友だちを作っていこうと思います。そして、一人でも多くの友だちが「学校が楽しいな」「友だちがいて心強いな」と思ってくれるようにしていきます。